

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社紀文食品	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒104-8101 東京都中央区銀座5-15-1
----	-------------------------	----	--

本票作成	部署名：生産効率課
------	-----------

主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業
-------	-------	----	------------

事業の概要	水産練製品
-------	-------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山総社工場	岡山県総社市井尻野700番地

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	12,300 t CO ₂	13,682 t CO ₂	12,000 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	岡山総社工場	13,682 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)	
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26) 年度削減実績	目標削減率 目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	13.7 %	2.5 % <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26) 年度	目標年度
		0.990 t CO ₂ /(t)	0.854 t CO ₂ /(t)	0.970 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

前年度と比較すると、電気ガスともに使用量が増加した結果となりました。その要因としましては、生産量の増加が主な要因です。特に新商品が本工場生産を開始したことによるものです。しかしながら、原単位では、前年を大きく上回る結果となっています。

【推進体制】

エネルギー管理委員会を定期的開催して、他工場などで実施している削減対策を参考にしている。又、日々、使用電力量、使用ガス量など、数値を確認して設備の異常などによる無駄や、ロスを監視している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山総社工場	<p>(26年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷却設備室外機に、散水時期を前年度よりも早く5月1日より24時間散水開始。 ・前年に引き続き、工場内の水銀灯照明をLED照明に変更、又、一部ではセンサーによる部分消灯有（工場内の水銀灯は全てLED照明に変更済） ・加熱生産設備への保温ジャケットの取付け実施 一部のみ実施（放射熱を押さえてガス使用量削減） <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷却設備室外機への散水装置取り付け（散水量の多い物と交換） ・空調用の室外機への散水装置取り付け ・高効率型コンプレッサーと入替（3台）

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	毎年、廃油の売買により燃料に再利用している
その他	無	

【その他特記事項】

--